



平成19年 2月21日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

タービン駆動原子炉給水ポンプ（A）切替に伴う出力の変更について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は、平成19年2月12日から第22回定期検査の最終段階である調整運転を実施しておりましたが、本日14時30分頃にタービン駆動原子炉給水ポンプ*1軸封部よりシール水が漏れていることを確認しました。

このため、電気出力を90万キロワットまで低下させる操作を本日16時から開始しました。今後、予備の電動機駆動原子炉給水ポンプに切り替えた後、電気出力を元の状態に戻すとともに当該部の点検を実施します。

なお、この事象による外部への放射能の影響はありません。

*1 冷却水を原子炉内に供給するポンプで、炉内の蒸気の一部を駆動源とする。

添付図 東海第二発電所 主要系統概略

以 上

東海第二発電所 主要系統概略

